

あつぎ市議会だより

第243号 発行日/2019年2月1日 発行/厚木市議会 編集/広報広聴特別委員会 〒243-8511 神奈川県厚木市中町三丁目17番17号 ☎046(225)2700

12月定例会議

条例の改正や補正予算など24議案を可決

新庁舎建設特別委員会に中町第2-1-2地区周辺整備等に関する調査研究を追加

12月定例会議は、11月29日から12月21日までの会議期間23日間で開かれました。

市長から初日に提出された議案は、人権擁護委員の候補者の推薦や条例の改正のほか、指定管理者の指定、平成30年度一般会計・特別会計・病院事業会計補正予算などの21議案です。このうち、「人権擁護委員の候補者の推薦について（4件）」を除いた17議案は質疑終了後、上程された請願・陳情とともに所管の常任委員会、議会運営委員会に付託されました。

本会議第2日から第4日までの3日間、議員20人が登壇し、一般質問が行われました。第4日には、市長から「平成30年度厚木市一般会計補正予算（第6号）」の議案1件が追加提出され、質疑の後、所管の常任委員会に付託したほ

か、議員から「新庁舎建設特別委員会の付議事件の追加について」の議案1件が提出され、採決の結果、可決しました。

また、休会中に各常任委員会、議会運営委員会が開かれ、付託された議案や請願・陳情に対し、慎重な審査が行われました。

最終日、「人権擁護委員の候補者の推薦について（4件）」に対する質疑が行われ、採決の結果、同意しました。その後、各常任委員長、議会運営委員長からの審査結果報告、4会派などによる討論が行われ、採決の結果、全議案を原案どおり可決しました。

さらに、市長から「平成30年度厚木市一般会計補正予算（第7号）」の議案1件が追加提出され、可決しました。

条例の改正

可決した条例の一部改正議案は7件です。

「厚木市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例」の主な改正内容は、議会の議員の期末手当の支給割合を改定するため、改正するものです。

「厚木市常勤特別職員員の給与及び旅費に関する条例」および「厚木市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例」の主な改正内容は、常勤特別職員員の期末手当の支給割合を改定するため、改正するものです。

条例の改正

「厚木市職員の給与に関する条例」および「厚木市一般職の任期付職員の採用等に関する条例」の主な改正内容は、一般職員および特定任期付職員の給与について、人事院勧告に沿って改定などをするため、改正するものです。

「厚木市議会議員及び厚木市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例」の主な改正内容は、公職選挙法の一部改正に伴い、市議会議員の選挙における選挙運動用ビラの作成を公費負担の対象とするため、改正するものです。

指定管理者の指定

可決した指定管理者の指定議案は2件です。施設の名称、指定管理者指定期間は次のとおりです。

◇厚木市立金田東老人憩の家Ⅱ 金田東老人憩の家 管理委員会（金田450番地1）。指定期間は、平成31年3月10日から34年3月31日まで。

◇厚木中央公園地下駐車場Ⅱ タイムズ24株式会社 連合会（タイムズ24株式会社「構成員代表者」Ⅱ 東京都千代田区有楽町2丁目7番1号）。指定期間は、平成31年4月1日から36年3月31日まで。

補正予算

可決した補正予算議案は、一般会計（3件）、4つの特別会計・病院事業会計の8件です。

依知公民館の施設を地域包括支援センターおよび障がい者相談支援センターに活用するため、旧依知公民館改修事業の措置や、国庫補助金を活用し、認定こども園の防犯対策に係る費用の一部を補助するため、幼稚園型認定こども園整備事業費補助金を措置するほか、台風24号の影響による災害復旧に要した経費を補填するため、各事業費を増額するものです。

一般会計補正（第6号）の主な歳出の内容は、台風24号の影響により被災した農業用施設などの再建や修繕に必要な経費の一部について、国および県と協調して補助するため、被災農業者向け経営体育成支援事業補助金を措置するものです。

一般会計補正（第7号）の主な歳出の内容は、国の臨時特例交付金を活用し、小学校22校の音楽室に冷暖房設備を設置するため、小学校教室冷暖房設備設置事業費を措置するものです。

各会計の補正後の予算額、既定の歳入歳出予算に対する増減額（カッコ内）は次のとおりです。

◇一般会計（第5号から第7号までの合計）Ⅱ 85億9484万4千円（13億1639万5千円増）

◇後期高齢者医療事業特別会計Ⅱ 27億4616万2千円（16万2千円増）

◇国民健康保険事業特別

会計Ⅱ 239億1276万6千円（476万6千円増）

◇介護保険事業特別会計Ⅱ 136億5669万3千円（69万3千円増）

◇公共下水道事業特別会計Ⅱ 69億4978万3千円（78万3千円増）

◇病院事業会計Ⅱ 収益的収入予定額108億7536万4千円（3億9112万8千円増）、収益的支出予定額113億735万4千円（3億9028万8千円増）

人権擁護委員4氏の推薦に同意

人権擁護委員14人のうち、4人の任期が満了することに伴い、横浜地方法律局長から後任委員の推薦依頼を受けた市長から意見を求められ、次の方々の推薦に賛成全員で同意しました。

- ◎成川三八子氏（緑ヶ丘）
- ◎前頭七恵氏（妻田北）
- ◎安部真知子氏（元町）
- ◎山本栄子氏（鳶尾）

2面下段に続く

主な内容

- ◆一般質問 2～6面
- ◆広報広聴特別委員会 3面
- ◆委員会の審査 7面
- ◆本会議の審議結果 8面
- ◆会議録検索をリニューアル 8面



冬の空を彩る消防団一斉放水（消防出初め式）



今定例会議では、20人の議員が3日間にわたり一般質問を行い、市政全般の施策について市長などの考えを問いました。主な質問と答弁の要旨を紹介します(掲載は質問順)。

厚木市長選挙立候補を どの時点で決断するのか

あつぎみらい 沼田 幸一議員



問 決断する時期は。

答 市長 9月議会で、

決断に時間をいただきたいと話したが、この間たくさんの励ましの声を頂戴し、後援会や多くの皆さまから出馬要請を受けた。厚木市長の在任の期数に関する条例には多選自粛の努力規定があることは誰よりも理解しているが、市民の皆さまに審判を委ねる決意を固めた。

問 条例は努力規定だが、当時の部長は禁止を意味すると答弁された。現在はどうか考えているか。

答 市長 条例順守ができた責任を感じているが、だからこそ覚悟を持った上で次のチャレンジへの判断をした。

問 条例廃止の道はないのか。

答 市長 条例廃止の発想もあつたが、条例の精神や姿勢は貫き通すべきと認識した。

問 なぜ本市でもこのような事態を招いたのか。

答 市長 一部の職員について障害者手帳などの確認が不十分のまま雇用率に算入していた。今後は、このようなことがないよう確認を徹底する。

答 総務部長 平成17年のガイドライン制定前から算入していた職員は、過去に手帳は確認済みと判断していた。またセンチティブなプライバシーシールと考へ、確認しづらい状況もあつた。意図的な水増しではない。

第9次厚木市総合計画第4期 実施計画の進捗と対応は

新政あつぎ 石井 芳隆議員



問 今年度から第4期

実施計画の事業が進められ、市民の期待も大きい

が、課題への対応は。

答 市長 6つの重点プロジェクトに積極的に取り組んでおり、これについての評価や市民満足度調査の結果はおおむね良好で、計画は順調に進捗している

と認識している。第4期実施計画は第9次総合計画の総仕上げとなる計画であり、次期総合計画につなげる役割も担っていることから、今後も市民の皆さまと協

働で将来を見据えたま

づくりに取り組んでいく。また、市民協働、現地対話主義、厚木市の将来都市像「元気あふれる創造

性豊かな協働・交流都市あつぎ」を骨組みに置いてこれから行っていく大

変さと、今までの実績を通して進めていくという

気持ちを持って行っていくことが、今の私の役目

であり、心境である。

●公共施設改修と長寿命化

問 基本的な考え方は。

答 財務部長 改修計

画などの優先順位は、建物の経年劣化や建物それぞれの部位の重要度から判定している。適時適切な措置を講じ建築物の長寿命化を図っている。

●都市整備部長 下

水道管渠の老朽化対策では、調査により発見した不良箇所は修繕を行って

いる。平成29年度までの調査結果では、管渠の健全率は95%強である。

●トイレの改修

問 進捗状況は。

答 教育総務部長 小中学校の64.4%が洋式化の改修を終了している。

●社会教育部長 ス

ポーツ施設の洋式化率は約54%である。

精神障害者保健福祉手帳の 更新手続きの周知は

無党派 高田 浩議員



問 精神障害者保健福祉

手帳の更新手続きは2年に一度行われるが、対象者に更新手続きの時期が近づいてきたことをあ

らかじめ知らせることが

望ましい。市民の立場に

立ち日常業務を見詰め直

してはどうか。

答 市長 精神障害者

災害時における本市の 危機管理対応は

あつぎみらい 高橋 豊議員



問 指定緊急避難場所

について対応と課題は。

答 市長 災害対策本部

配備計画に基づき避難情報を発令する前に担当職員を配置し、準備を整えて開設している。今後

も災害の規模や種類に応じた避難場所の開設に努

めるとともに、避難され

た市民の皆さまの安全が確保されるまでの間、安心して過ごせるよう万全

を尽くしていく。

●交通安全対策

問 ソフト面での普及

。中町第2-2地区周辺交通アクセス整備事業

として、既存道路の拡幅、

あるいは新規道路の建設など、渋滞に関して支障

のないよう検証している。

また、第8次厚木市道路

整備三箇年計画の中にも

盛り込んでいく。

問 複数の交通工学の

研究者から見解を聞いたのか。

答 政策部長 厚木市

庁舎建設等検討委員会の

中で、交通に関する部分

は交通安全関係の団体が

入っており、その中では

特に意見はなかった。専

門家という部分で、交通

量調査を委託した業者に

1面から続く

議員提出議案

可決した議員提出議案は、新庁舎建設特別委員会の付議事件を追加する1件です。

「新庁舎建設特別委員

会の付議事件の追加について」は、中町第2-2地区周辺整備などに関する調査研究を追加するも

のです。

◇

このほか、三田地区で

住居表示を実施するに

当たり「住居表示を実施す

べき市街地の区域及び当該区域内の住居表示の方法について」「町の区域の設定及び字の廃止につ

いて」の2件が提案され、可決しました。

ホームページの 議会情報

厚木市議会では、より開かれた議会を目指し情報発信に努めており、ホームページで次の情報をご覧になれます。

- ◆インターネット議会議中継
本会議・常任委員会・特別委員会などの生中継と録画中継
- ◆会議録(本会議・常任委員会など)委員会の会議録を掲載するまでの間、委員長報告を掲載しています。
- ◆市議会だより
- ◆その他
議員名簿、議会質問通告一覧、子どもページ、議長交際費など。



会議録の閲覧を!

本会議や委員会の詳しい内容は、インターネットや市政情報コーナー(本庁舎1階)などで会議録をご覧ください。なお、会議録ができるまでの間は、インターネット議会議中継(録画放映)もご覧になれます。



子ども食堂の取り組みの方向性は

あつぎの会 望月 真実 議員



問 行政提案型事業としての子ども食堂は平成31年度で終了になるが、今後の在り方について、見解は。

答 市長 子どもを支える取り組みを推進するため、昨年度から市民活動団体などが実施する子ども食堂を支援している。今後も継続的な活動が行われるよう引き続き支援していく。

答 こども未来部長 意義のある事業で子どもの貴重な居場所になると考えている。行政として引き続き支援できることを明確にし、支援していきたい。

●学校におけるキャッシュレス化

問 集金のために子ども



開業から5年が経過するアミューあつぎ。昨年12月に映画館がリニューアルオープンした

答 学校教育部長 今後の集金の在り方については、現金を持たせない方法を含め、学校の状況や教員の事務量も考慮しながら、児童・生徒の負担ができる限り少ない方法を各学校が取り入れられるよう、教育委員会で

も情報収集し、学校に提供していきたい。

●アミューあつぎ

問 商業フロアについては、踏み込んで考えていかなければいけない。運営を続ける上での課題は。

答 産業振興部長 中心市街地活性化の核としてにぎわい創出の一翼を担う使命があること。商業ビルの目的である来客を増やして売り上げを高め、床の賃料収入を高めること。9階の映画館の運営といった3つの目的をバランスよく果たすことだと認識している。

一般質問

主な質問と答弁

いじめゼロの取り組みについて見解は

あつぎの会 奈良 握 議員



問 いじめはゼロになり得るのか。

答 学校教育部長 平成29年度の調査では、小学校295件、中学校98件である。

●教育の中立性

問 教育は本当に中立か。中立をどう考えるか。

答 教育委員 教育委員会は独立して教育行政を担当することで、中立的、専門的な行政運営を担保していることや、住民に

●新たな図書館の整備

問 複合施設において、図書館に関する希望はどこまで通るのか。

答 社会教育部長 面積上の基準はなく、(仮称)こども未来館や新庁舎との融合、連携について協議調整を行っている。滞在型の図書館として、また、くつろぎや交流の場として望ましい姿は何

よる意思決定の仕組みの下、合議を得て意思決定を行うことで、中立的な教育行政を実現できていると認識している。

問 図書館の今後のありべき姿は。

答 教育委員 人々のコミュニケーションが生まれる場であり、子どもの成長に欠かせない学びの拠点であると考えている。また、郷土厚木に関する資料などを調べ、学べるという面でも機能の充実を図っていきたい。

●生活保護基準の改定

問 平成30年10月に生活保護基準が改定されたが、内容と影響は。

答 福祉部長 改定幅はマイナス5%以内となるよう経過的加算が設けられている。3年間かけ

て段階的に実施する。

答 学校教育部長 要保護児童・生徒の認定について、今まで認定されていた家庭が認定されなくなるという影響があると考えている。できるだけ影響が生じないように、25年度の改定以前の基準の1・5倍以内と広い範囲で認定していくことを考えて準備をしている。

ソーラーシェアリングの普及に向けた取り組みは

日本共産党 栗山 香代子 議員



問 あつぎ元気地域エネルギー構想実行計画にある、農地を活用したソーラーシェアリングの今後の取り組みは。

答 農業委員会事務局 県の公表資料によると、4市2町で24件の許可実績がある。

答 環境農政部長 何らかの支援をしていくつもりである。今後、さらに何かできるかを県内他市の状況を確認しながら見極めていきたい。



中心市街地活性化への取り組みは

日本共産党 釘丸 久子 議員



問 新庁舎の建設予定地を中町第2-2地区とした場合の課題と対応は。

答 市長 複合施設利用者の増加に伴う周辺交通対策が課題と考え、歩行空間を含めた道路拡幅や新規道路の建設など、交通環境の改善を進める。また、中町第2-2地区、アミューあつぎ、近隣商店会および既存大型店と連携し、にぎわいや回遊性の向上を図り、誰もが快適に利用できる市街地整備を進める。

問 新庁舎整備基本構想は策定したが、消防本

広報広聴 特別委員会から

市民に身近な議会として、また、より開かれた議会を目指し、厚木市議会では常に時代を先取りした議会活動を展開しております。

昨年8月からは、経費削減やペーパーレス化、スピーディーな対応などのメリットが多いため、導入した議会をスタートさせました。

また、今回で13回目となりました議会報告会では、市民を対象に開催したほか、消防団幹部(副分団長以上)や各地区の体育振興会長、さらに起業されている方を対象に、各会場で開催日を変えながら実施。活発に意見交換したほか、提案や要望などをいただきました。

今後も時代にマッチした議会となるよう工夫を凝らしながら、引き続き議会改革を進めてまいります。

(沼田幸二)

●市街地整備担当部長 防災、消防力の総合的な強化を図るため、消防本部と庁舎の一体化を検討している。国や県の施設の方針は明確になっていないが、引き続き調整を図る。図書館、(仮称)こども未来館は、庁舎を含めた各機能の融合を考え、基本計画の中で必要な面積を定めていきたい。

問 新庁舎部分の建設費は概算100億円、1

問 新庁舎の建設予定地を中町第2-2地区とした場合の課題と対応は。

答 市長 複合施設利用者の増加に伴う周辺交通対策が課題と考え、歩行空間を含めた道路拡幅や新規道路の建設など、交通環境の改善を進める。また、中町第2-2地区、アミューあつぎ、近隣商店会および既存大型店と連携し、にぎわいや回遊性の向上を図り、誰もが快適に利用できる市街地整備を進める。

問 新庁舎整備基本構想は策定したが、消防本

平方メートル単価は48万円と計算しているが、算出根拠は。

答 市街地整備担当部長 近隣自治体の実績を参考に算出している。今後、基本計画を検討する中で規模が確定したら、全体の金額を提示したい。

問 中町第2-2地区周辺において、道路整備の優先順位は。

答 道路部長 まず、新規道路を完成させたい。2番目に、イオン北側の市道A-358を整備し、東西に県道まで抜ける新規の道ができることで、利便性が相当上がる。



国道246号バイパスの整備状況は



あつきみらい 渡辺 貞雄議員

問 公共用地先行取得事業の成果と進捗状況は。

答 市長 今年度、関東地域で唯一、国の用地国債先行取得制度を活用したことで、国道246号バイパス用地費について本市が約10億円を予算化し、国の予算は従前の10億円から20億円に倍増され、本市予算と合わせ30億円が確保された。昨年度末は白紙状態であった第3工区について、新たに物件調査が行われ、市内全事業化区間が事業着手された。さらに、埋蔵文化財の試掘調査が検討されるなど、工事着手に向け大きく進展している。また、本市予算分による現在の用地取得状況は、約98%に及ぶ契約の締結がされている。なお、第1工区から第2工区までの用地取得にはおおむね5年を要すると国から伺っている。

生活保護受給者および暮らし老人の孤独死への対応は



あつきみらい 松田 則康議員

問 本市の対応は。

答 市長 孤独死を防ぐため、民生委員や地域包括支援センター職員による訪問、民間事業者などによる地域の見守り活動を行っている。なお、不幸にも孤独死された場合、生活保護受給者については、死亡した際の葬祭費を支給している。

問 両者の市営住宅の同居状況は。

答 市長 生活保護受給者の同居世帯は35世帯、1人暮らしの60歳以上の方は、137人いる。

2月定例会議の開催予定

●本会議

3月4日(月)・5日(火)..... 議案等質疑

3月8日(金)・11日(月)・12日(火)..... 一般質問

3月26日(火)..... 委員長報告・討論・採決

●常任委員会

総務企画..... 3月14日(木)

市民福祉..... 3月15日(金)

環境教育..... 3月18日(月)

都市経済..... 3月19日(火)

◆特別委員会(本会議などの終了後)

広報広聴特別委員会... 3月26日(火)

会議は、原則として午前9時に開きます。傍聴は、本庁舎5階ロビーで受け付けます。

ごみ収集の将来の方向性は



新政あつき 田口 孝男議員

問 将来の方向性は。

答 市長 厚木市一般廃棄物処理基本計画に基づき、減量化、資源化の目標達成に向けたより良いごみの収集方法について検討を進めており、来年度は、モデル地区における戸別収集を先行し、収集時間や収集量などの検証を進めていく。併せて、ごみ減量に向けた有効な手段の一つである有料も視野に入れていく。

●バス停付近の安全確保

問 危険度が高いバス停留所はどこか。また、今後の対応は。

答 道路部長 飯山の東京工芸大学前停留所、三田の十軒村停留所、上荻野の平山坂上停留所の上りおよび下り線の4カ所である。東京工芸大学前停留所は、横断歩道から30m移動し、今後、自治会および沿線地権者の理解を得て、植栽帯や街路樹を移設する。また、

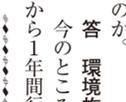


危険度が高いと判定された「東京工芸大学前」停留所。安全確保のため、移動する予定となっている

●バス乗降客の安全確保、スムーズな運行および渋滞緩和に対する今後の取り組みは。

答 道路部長 歩道整備、交差点改良およびバスウェイなどが有効と考える。歩道整備および交差点改良は、第8次厚木市道路整備三箇年計画で、計画に進めているが、バスウェイはこれの中で位置付けていないため、(仮称)あつぎの道づくり計画に位置付けていきたい。

愛甲宮前交差点近隣の改良について見通しは

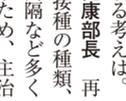


新政あつき 高橋 知巳議員

問 早期実現を要望したいが、市の考えは。

答 道路部長 渋滞解消のため、予備設計委託や歩道橋配置検討委託を既に発注している。また、市道愛甲長谷線への左折レーンの設置、既存右折レーンの延伸、歩道の整備およびペDESTリアンデッキへの新たな階段の設置について、国土交通省と協議を進めている。平成31年度に歩道橋の設置に伴う詳細設計委託を発注し、早期の事業着手を図っていく。

本厚木駅南口の再開発における市の負担は適切か



あつきみらい 井上 敏夫議員

問 駅前広場を公共施設管理者負担金で取得し、拡張することは、再開発ビルの高さ制限の緩和に役立つのではないかと考える。

答 許可担当部長 駅前広場の拡張部分が高層ビルが可能なこと、取得は、組合にも有利に働いているため、公共施設管理者負担金の単価を下げてもらったのではないか。

●汚水管の年次整備計画

問 市街化調整区域内汚水管の年次整備計画は。

答 市長 2021年度から10年間の年次計画に基づき整備を進める。

●水路敷道路

問 水引周辺にある細い道路のことを水路敷道路と呼んでいる。接道要件を満たしていない場合、

答 市長 戸別収集に給者の同居世帯は35世帯、1人暮らしの60歳以上の方は、137人いる。

●環境施設担当部長

問 今のところ、5月1日から1年間行っていくか。

答 市長 白痴病など、血液疾患の発症者に対する治療の一環として、骨髄移植を推進するには、骨髄を提供していただくドナーへの支援が重要と認識している。神奈川県と連携し、骨髄ドナー支援事業を推進していく。

答 市民健康部長 費用を助成する考えは。接種は、予防接種の種類、接種時期や間隔など多くの条件が伴うため、主治医の詳細な予診が不可欠となる。この問題点を調査研究する必要がある。

●骨髄移植ドナーへの支援の状況は

公明党 山崎 由枝議員

費用を助成する考えは。

答 市民健康部長 接種は、予防接種の種類、接種時期や間隔など多くの条件が伴うため、主治医の詳細な予診が不可欠となる。この問題点を調査研究する必要がある。

●地域の観光振興

問 鷲尾山ハイキングコースの維持管理計画は。

答 市長 ハイカーや地域住民の声を聞きながら、本市が誇る観光資源として、適切に維持管理していく。

●障がいのある子どもに対する幼稚園への対応は

新政あつき 新井 啓司議員

問 保育所と同様な支援ができていますか。

答 子ども未来部長 療育手帳などの交付を受けている子どもは対象とならない。平成30年4月1日に施行された幼稚園教育要領において、特別な配慮を必要とする幼児への指導の充実が示されており、手帳の交付を受けていないが集団生活で配慮が必要な子どもにも支援できるように検討している。

●市立病院の医療体制

問 新天皇の即位に係る祝日の閣議決定を受けて、想定される10連休の対応は。

答 病院事業局長 周辺の医療機関が休診となる

●市立病院の医療体制

問 新天皇の即位に係る祝日の閣議決定を受けて、想定される10連休の対応は。

答 市長 市民健康部長 費用を助成する考えは。接種は、予防接種の種類、接種時期や間隔など多くの条件が伴うため、主治医の詳細な予診が不可欠となる。この問題点を調査研究する必要がある。

●重度の自閉症に対する生活介護事業所を設置する考えは

公明党 寺岡 まゆみ議員

問 重度の自閉症に対する専門性を備えた生活介護事業所の設置に向けた取り組みは。

答 福祉部長 厚木市としても前向きに考えており、その強い思いを込めて、厚木市障がい福祉計画(第5期)の方針の中において掲げている。事業所の誘致は相手方もあり、専門的知識を有する人材の確保に非常に苦労しており、厚木市としてできることは何かを熟考しつつ、現在、検討を重ねている。

●住宅確保要配慮者

問 高齢者、障がい者ひとり親家庭などの住宅確保要配慮者が安心に生活できるような、また、家主が安心して住宅を提供できるような、セーフティネット住宅の推進を図る考えは。

答 市長 住宅確保要配慮者の入居を拒まない住宅の必要性は十分認識している。家主の理解を得ることが重要なことから、意識啓発も含め、神奈川県や関係機関と連携しながら、住宅セーフティネット制度の普及に努めていく。

●厚木環状3号線

問 整備を進めると、土地区画整理事業の施行

答 道路部長 道路の雨水排水計画や造成計画は、協議が整っている。また、一部が土地区画整理区域内に重なるが、道路構造物となるため、施行後は道路区域とする。とで協議が整っている。

●歩行者デッキの設置が進められている本厚木駅南口駅前広場

歩行者デッキの設置が進められている本厚木駅南口駅前広場

●市立病院の医療体制

問 新天皇の即位に係る祝日の閣議決定を受けて、想定される10連休の対応は。

答 市長 市民健康部長 費用を助成する考えは。接種は、予防接種の種類、接種時期や間隔など多くの条件が伴うため、主治医の詳細な予診が不可欠となる。この問題点を調査研究する必要がある。

●地域の観光振興

問 鷲尾山ハイキングコースの維持管理計画は。

答 市長 ハイカーや地域住民の声を聞きながら、本市が誇る観光資源として、適切に維持管理していく。

●障がいのある子どもに対する幼稚園への対応は

新政あつき 新井 啓司議員

問 保育所と同様な支援ができていますか。

答 子ども未来部長 療育手帳などの交付を受けている子どもは対象とならない。平成30年4月1日に施行された幼稚園教育要領において、特別な配慮を必要とする幼児への指導の充実が示されており、手帳の交付を受けていないが集団生活で配慮が必要な子どもにも支援できるように検討している。

●市立病院の医療体制

問 新天皇の即位に係る祝日の閣議決定を受けて、想定される10連休の対応は。

答 市長 市民健康部長 費用を助成する考えは。接種は、予防接種の種類、接種時期や間隔など多くの条件が伴うため、主治医の詳細な予診が不可欠となる。この問題点を調査研究する必要がある。

●5歳児健康診査

問 平成29年度からモデル園において、発達障

●住宅確保要配慮者

問 高齢者、障がい者ひとり親家庭などの住宅確保要配慮者が安心に生活できるような、また、家主が安心して住宅を

●歩行者デッキの設置が進められている本厚木駅南口駅前広場

歩行者デッキの設置が進められている本厚木駅南口駅前広場

●市立病院の医療体制

問 新天皇の即位に係る祝日の閣議決定を受けて、想定される10連休の対応は。

答 市長 市民健康部長 費用を助成する考えは。接種は、予防接種の種類、接種時期や間隔など多くの条件が伴うため、主治医の詳細な予診が不可欠となる。この問題点を調査研究する必要がある。

●地域の観光振興

問 鷲尾山ハイキングコースの維持管理計画は。

答 市長 ハイカーや地域住民の声を聞きながら、本市が誇る観光資源として、適切に維持管理していく。

●障がいのある子どもに対する幼稚園への対応は

新政あつき 新井 啓司議員

問 保育所と同様な支援ができていますか。

答 子ども未来部長 療育手帳などの交付を受けている子どもは対象とならない。平成30年4月1日に施行された幼稚園教育要領において、特別な配慮を必要とする幼児への指導の充実が示されており、手帳の交付を受けていないが集団生活で配慮が必要な子どもにも支援できるように検討している。

●市立病院の医療体制

問 新天皇の即位に係る祝日の閣議決定を受けて、想定される10連休の対応は。

答 市長 市民健康部長 費用を助成する考えは。接種は、予防接種の種類、接種時期や間隔など多くの条件が伴うため、主治医の詳細な予診が不可欠となる。この問題点を調査研究する必要がある。

●地域の観光振興

問 鷲尾山ハイキングコースの維持管理計画は。

答 市長 ハイカーや地域住民の声を聞きながら、本市が誇る観光資源として、適切に維持管理していく。

議会用語解説

●付託

本会議の議決を要する事件(案件)について、詳しい検討をす

●審議と審査

本会議で付託事件(案件)について説明を開き、質疑し、討論を

●一般質問と質疑

議員が市の行政全般にわたり、市長などに対し事務の執行状況や

●表決・採決と議決

個々の議員が議案や請願・陳情などに対して賛成、反対の意思

●請願・陳情の採択、趣旨採択

請願・陳情の内容について、願意が妥当である場合には、議会の

●骨髄移植ドナーへの支援の状況は

公明党 山崎 由枝議員

費用を助成する考えは。

●地域の観光振興

問 鷲尾山ハイキングコースの維持管理計画は。

●障がいのある子どもに対する幼稚園への対応は

新政あつき 新井 啓司議員

●市立病院の医療体制

問 新天皇の即位に係る祝日の閣議決定を受けて、想定される10連休の

●地域の観光振興

問 鷲尾山ハイキングコースの維持管理計画は。

●障がいのある子どもに対する幼稚園への対応は

新政あつき 新井 啓司議員

新たな森林管理システムの進め方は

あつぎみらい 瀧口 慎太郎 議員



問 各種施策の進め方は。 答 市長 森林の経営管理を市または民間事業



南毛利中学校の北棟校舎では、床や壁に県内産の木材が利用されている

中小零細企業の事業承継への支援は

新政あつぎ 新川 勉 議員



問 市内で事業を承継してほしい経営者と事業を承継したい若い人を

面的機能を発揮させることを目的としている。システムの運用は、神奈川県および森林組合などと連携を図り実施していく。

問 期待される効果は。 答 鳥井理事 林業の振興や森林の有する多面的機能の発揮に資すると考えている。

問 本市公共施設での県産材の利用状況は。 答 鳥井理事 南毛利中学校、上戸田児童館、上古沢老人憩の家および厚木南公民館で利用されている。

問 厚木産木材の利用拡大の考えは。 答 鳥井理事 元気な森づくり整備計画で、地元でとれた木材は地元で利用する必要性を強調している。

問 新たな起業に対する支援はどのようなものか。 答 産業振興部長 起業スクールの実施や創業支援の利子を補給するなど、直接的な支援を行うとともに、開業後は個別に相談に応じるなど、さまざまな形で支援をしている。

●新地方公会計制度 問 公会計制度の中で、リース債務についてはど

●河川の樹林化および土砂堆積への対応

問 対応状況は。 答 都市整備部長 本市が管理する準用河川は、定期的な樹木の伐採や草刈りを実施している。現在、土砂堆積の危険箇所はなく、今後もパトロールを実施し、適正な維持管理に努める。一級河川については、神奈川県土木事務所と年2回調整会議を実施している。また、厚木市長が会長を務める神奈川県河川協会から、河川整備の財政確保などの要望書を提出している。

一般質問

主な質問と答弁

災害に強いまちづくりへの見解と方策は

あつぎの会 名切 文梨 議員



問 東日本大震災の被災地では、職員定数削減による専門職の人材不足が災害対応の遅れの一因になった。本市でも、土木職や建築職などの技術職で40歳未満の職員が少数傾向が顕著だが、対応策は検討しているか。 答 総務部長 災害時のインフラ復旧を担う技術職の確保に向け、採用試験の年齢制限の引き上げや、採用区分を初級で募集するなど、年齢構成の平準化と優れた人材の確保に努めている。

●4期目の出馬を決断した市長の思いは 新政あつぎ 井上 武 議員



問 「みんなできつくり元気なあつぎ」をスロガンに、現地対話主義、市民協働によるまちづくりを進め、着実に成果を上げてきた。経営革新度日本一、厚木市自治会連絡協議会の総務大臣表彰、マニフェスト大賞の最優秀賞などの外部評価は、客観的に見ても明らかで実績と考えている。市長自ら多選を自粛する条例を制定している中での出馬表明は、苦渋の決断だったと思うが、現時点で市長の率直な思いは。 答 市長 12年前、厚木市長の在任の期数に関する条例を提案させていただいた。この条例は清新で活力ある市政運営への思いを込めた条例である。一方、市民の皆さまや職員とともに進めてきたまちづくりは、道半ばと言っても良いと考え

る。これから大きなプロジェクトが計画されており、その道筋を考えなければならぬと思うと、現職の市長として重い責任があると痛感している。このような中で、身を引いた方が良いか、続けていった方が良いのか悩んだ結果、共にまちづくりを力注いでくれた市民の皆さまの声を聞かせていただく道を選択した。私たちには、先人がつくり上げた思いを受け継ぎ、今の厚木市を磨いていく役目があり、日本に誇れる厚木のまちをつくりたい。夢を見たい。夢のある希望を持った考え方でやっていくことが一番大事であると考えている。市民の皆さまに審判を受ける身として、真摯に、ひた向きに前進する気持ちで伝えたい。

に住む方の移動手段を把握し、必要に応じ施策を打ち出すべきではないか。 答 市長室長 大きな災害の場合、避難所までの移動が大きな課題であるが、地域のつながりの中で移動を考えていただくことは、引き続きお願いしていきたい。また、道路の被災状況によつては、車の活用が難しくなるのが課題であり、対応を考えていきたい。

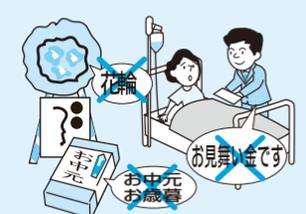
●公園の防犯対策 問 日本の公園のベンチは内側を向いているが、欧米では不審者対策のため外側を向いている。本市でもベンチを外向きにする取り組みが検討できないか。 答 都市整備部長 敷地が大きい公園では可能と考えられるため、今後、関係する皆さまの意見を伺いながら研究したい。

問 指定外の避難所に避難している被災者について、どのように把握するのか。 答 市長室長 避難所運営委員会の方に地域を

政治家の寄付は禁止 有権者が求めることも禁止

政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。違反すると罰せられます。また、有権者が寄付を求めることも禁止されています。次のことは違反になります。

- ◆落成式・開店祝、葬式などの花輪・供花
- ◆入学祝・卒業祝、お中元やお歳暮、病氣見舞い
- ◆地域のお祭りへの寸志や飲食物の差し入れ
- ◆秘書などが代理で出席する場合の結婚祝、葬式の香典
- ◆町内会の集会や旅行などの催し物への寸志や飲食物の差し入れ



委員会の審査

条例・補正予算など —主な質疑と答弁—

条例の改正や補正予算などの議案、陳情について、委員会での主な質疑と答弁、委員の意見を紹介します。

総務企画

○厚木市議会議員及び厚木市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について

問 統一地方選挙から対象になるのか。

答 4月の統一地方選挙から対象となる。また、対象は都道府県議会議員、政令指定都市の市議会議員および一般市の市議会議員で、町村議会議員は対象外である。

問 投票率アップにつながるため、ピラが公費の対象になったと思うが、効果の予測は。

答 今回の公職選挙法改正の理由は、都道府県または市の議会議員の選挙において、候補者の政策などを有権者が知る機会を拡充するためとうたわれている。頒布できる枚数は、一般市は4千枚で、従前できなかった細かい政策などを有権者に示す機会が増え、投票率

アップに寄与すると考えている。

○平成30年度厚木市一般会計補正予算(第5号)「所管科目」

問 通信指令関係事業費について、訓練で役割が発揮されたために無線機を付けるのか。

答 総務省消防庁から無償貸与される拠点機能形成車に消防無線機を積載するものである。

問 災害対策事業費増の詳細は。

答 台風12号および24号で開設した公民館14カ所、児童館2カ所、老人憩の家2カ所の合計18カ所に、避難者の情報入手手段としてテレビを設置するものである。

問 ふるさと納税推進事業費について、内訳は。

答 返礼品と送料1550万円、委託料450万円、クレジット関係手数料80万円、全部で2080万円になる。今回、寄付金が8千万円増の3億円を見込んでおり、経費は今回の補正で1億6

市民福祉

千万円となり、経費率は53%程度である。

○厚木市立老人憩の家指定管理者の指定について

問 自治会が指定管理者となった場合、近隣の老人憩の家と重なることはないのか。また、利用者の見込みは。

答 金田東老人憩の家の管理委員会は、施設周辺の自治会などで構成しており、他と重ならないようにしている。また、年間利用者は、約3千人を見込んでいる。

○平成30年度厚木市一般会計補正予算(第5号)「所管科目」

問 旧依知公民館の改修内容は。また、オープンはいつか。

答 現在、選挙管理委員会の倉庫として使っているが、依知地域包括支援センターから施設の貸し出し希望の申し出があり、庁内で協議をした結果、地域包括支援センターと新たに依知地区に設置する障がい者相談支援センターが同じ施設に

入ることとなった。改修はトイレ、空調、電気、外壁の最低限の範囲で行う。今年度内で修繕し、両者の移転を踏まえ、平成31年夏前のオープンで考えている。

問 文化会館の大規模改修は、概算でいくらか。

答 改修内容は、大小ホールの天井、エレベーター、空調設備、トイレのバリアフリー化などである。耐用年数が過ぎている設備や前回改修しなかったものも実施する予定であり、総額で約40億円を想定している。

問 地域密着型サービス等開設準備補助金について、厚木市内の地域密着型サービスのニーズと充足状況は。

答 補助金については、介護施設などの開設に必要な初年度経費を支援することで質の高いサービスを提供可能にすることを目的としている。また、施設の充足状況については、市内に特別養護老人ホームが12施設、810床あるが、今年度、29床の整備に着手し、待機者を減らすよう進めている。

○平成30年度厚木市病院事業会計補正予算(第1号)

問 債務負担行為の廃止について、具体的な内容は。また、病院の収益に効果はあるか。

答 尿、便、血液検査などについては、委託業者が検体検査業務を行っているが、ここで契約更新となるため、直営検査に切り替え、検査技師を雇うこととする。また、直営検査の方が費用を抑えることができる。

環境教育

○平成30年度厚木市一般会計補正予算(第5号)「所管科目」

問 都市農地保全支援事業補助金の内容は。

答 1992年に指定を受けた生産緑地地区は、30年が経過する2022年に市に対する買い取り申し出が可能になり、市街化区域内の農地が宅地などに転用される恐れがある。都市部の農地を守るため、神奈川県が対策事業を創設したことに協

ち30年が経過する農地は179カ所、面積約20ヘクタール、農家数177戸である。今回、補助を受ける23人の方全てが特定生産緑地地区の指定を受ければ、約6分の農地が確保される予定である。

問 小中学校の維持補修について、台風24号の関係があるが内訳は。

答 台風24号の被害対応は、小学校は1090万円、中学校は南毛利中学校の防球ネットの改修に7700万円、このほか体育館の床修繕や受水槽改修工事を予算化している。なお、中学校については、防球ネット改修以外の台風被害対応は、現計予算で行った。

問 南毛利中学校の防球ネットの改修は、どのような方式で行うのか。

答 防球ネットの支柱がスチール製で、経年劣化による腐食が進行していることを踏まえ、今後の安全性を確保するため、コンクリート支柱の防球ネットに改修予定である。

○平成30年度厚木市一般会計補正予算(第6号)

問 被災農業者向け経営体育成支援事業補助金の内容と対象件数は。

答 9月末の台風24号の強風により、全国的に農業用施設などに甚大な被害が生じたことから、国が支援対策の実施を発表した。これを受け、被害調査などの結果、22件が支援事業を受け入れることになったものである。

都市経済

○厚木市営自動車駐車場指定管理者の指定について

問 今回の指定管理者について、これまでの5年間の業務で市民からの意見などはあったのか。

答 厚木市指定管理者選定評価委員会に利用者の代表者が委員として入っている。その中には、引き続き安定したサービスが受けられるという意見をいただいている。また、毎年度提出された事業実績報告書を基にモニタリングを実施し、指定管理者を評価している。その中では、今回の指定管理者については、サービスの満足度が高いという評価を受けている。

○平成30年度厚木市一般会計補正予算(第5号)「所管科目」

問 アミューあつぎ9営業事業費の内容は。

答 アミューあつぎ9階にある映画館の座席を全て交換するための修繕費である。老朽化が進み、多くの座席でシートの破れや不具合が生じている。交換できる部品もないため、全ての座席を交換することとした。

問 厚木中央公園にある噴水球の改修内容は。

答 台風11号の豪雨により地下機械室が浸水し、ポンプや電気設備関係全てが故障した。全て復旧すると費用が多くなることから、復旧を断念した。噴水球は撤去し、中央の池は埋め立てて暫定的な整備をし、多目的に使えるような広場を整備していく。

運動公園維持補修事業費について内容は。

答 荻野運動公園の屋内プール棟の天井ボードの張り替えと可動式屋根の修繕を行う。屋内プール棟は可動式屋根を採用し開閉できるが、今年度の点検で設備機器の補修を要する報告があった。天井ボードが天井に落ちてきているが、つり金具の腐食が進行しており、直ちに崩落という恐れはないものの、利用者に危険を及ぼす恐れがあることから天井ボードと可動式屋根の修繕を行う。

議会運営

○厚木市議会も神奈川県議会に準じて陳情者の意見陳述を実施することを求める陳情

・議会の在り方検討会で請願および陳情の意見陳述について議論し、当面は請願のみの結論に達している。今後、市議会でも議論すべきことだと思ふ。・陳情の意見陳述は、改めて議論する機会も出てくると思うので、その際に市議会として決定していくべきだと考えている。

委員会の行政視察

各委員会では、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問調査を行っています。このほど実施した新庁舎建設特別委員会の行政視察は次のとおりです。

◆新庁舎建設特別委員会
10月31日・11月1日、新庁舎建設について(徳島県阿南市)

本会議の審議結果

第5回会議(12月定例会議)提出案件		各会派の賛否 ○…賛成、●…反対					議決結果	
		みらい	新政	公明党	あつぎ	共産党		無党派
議案第82～85号	人権擁護委員の候補者の推薦について(4件)	○	○	○	○	○	○	同意
議案第86号	厚木市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	可決
議案第87号	厚木市常勤特別職職員の給与及び旅費に関する条例及び厚木市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	可決
議案第88号	厚木市職員の給与に関する条例及び厚木市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	可決
議案第89号	厚木市手数料条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	可決
議案第90号	厚木市市税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○●	●	○	可決
議案第91号	厚木市都市公園条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	可決
議案第92号	厚木市議会議員及び厚木市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	可決
議案第93号	住居表示を実施すべき市街地の区域及び当該区域内の住居表示の方法について	○	○	○	○	○	○	可決
議案第94号	町の区域の設定及び字の廃止について	○	○	○	○	○	○	可決
議案第95号	厚木市立老人憩の家指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
議案第96号	厚木市営自動車駐車場指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
議案第97号	平成30年度厚木市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	可決
議案第98号	平成30年度厚木市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
議案第99号	平成30年度厚木市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
議案第100号	平成30年度厚木市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
議案第101号	平成30年度厚木市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
議案第102号	平成30年度厚木市病院事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○●	○	○	可決
議案第103号	平成30年度厚木市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	可決
議案第104号	平成30年度厚木市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	可決
請願第3号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書を国に提出することを求める請願	●	●	●	○●	○	●	不採択
請願第4号	「介護労働者の労働環境及び処遇の改善」のために国に対し意見書の提出を求める請願	●	●	●	○●	○	●	不採択
陳情第24号	横田ラブコンの撤廃を求める意見書を国に提出することを求める陳情	●	●	●	○●	○	●	不採択
陳情第25号	厚木市長の在任の期数に関する条例の誠実な履行を求める陳情	○	○	○	○	●	●	採択
陳情第26号	厚木市議会も神奈川県議会に準じて陳情者の意見陳述を実施することを求める陳情	●	●	●	●	●	●	不採択
陳情第27号	私学助成の拡充を求める意見書を国に提出することを求める陳情	●	●	●	○●	○	○	不採択
陳情第28号	私学助成の拡充を求める意見書を神奈川県に提出することを求める陳情	●	●	●	○●	○	○	不採択
議員提出議案第5号	新庁舎建設特別委員会の付議事件の追加について	○	○	○	○	○	○	可決

◎平成30年12月21日議決時の会派構成など

※議長…難波達哉(議長は採決に加わりません)、副議長…遠藤浩一 ※会派等表記、正式名称、議員数、所属議員(―は代表者)

みらい…あつぎみらい(9): 袖子雅人、高橋豊、瀧口慎太郎、渡辺貞雄、松本樹影、難波達哉、越智一久、沼田幸一、松田則康 新政…新政あつぎ(6): 石井芳隆、井上武、高橋知己、田口孝男、新川勉、新井啓司 公明党…公明党(5): 川口仁、寺岡まゆみ、遠藤浩一、山崎由枝、田上祥子 あつぎ…あつぎの会(5): 奈良握(議案第90号反対、請願第4号賛成)、望月真実(請願第3号反対、陳情第24号反対)、名切文梨(議案第102号反対、請願第4号賛成)、山本智子、井上敏夫(請願第3号反対、陳情第24・27・28号反対) 共産党…日本共産党厚木市議員団(2): 釘丸久子、栗山香代子 無党派…無党派(1): 高田浩

第13回議会報告会

市民と議会の意見交換会を開催しました

第13回議会報告会は11月17・18・21・26日の4日間、依知北公民館などで開催し、合計で72人の方に参加していただきました。

今回の報告会では、9月定例会議で議案となった平成29年度決算の審議概要などを報告したほか、市民の関心が高い話題や各団体が抱えている課題などをテーマに参加者と意見交換を行いました。また、11月26日はワークショップ形式で実施し、参加者それぞれの立場からの意見や提案が出されていました。

各会場でいただきましたご意見などは、今後の議会運営の参考とさせていただきます。



11月17日 厚木市消防団



11月18日 市民の皆さん



11月21日 厚木市地区体育振興会長連絡協議会



11月26日 あつぎ起業スクール修了生

平成31年2月1日から

会議録検索システムをリニューアル

インターネットで本会議や常任委員会などの会議録を検索・閲覧できる会議録検索システムをリニューアル。より検索しやすい画面構成にしたほか、読みやすい表示形式にしておりますので、ぜひご利用ください。

検索システムでは、平成7年2月以降の本会議会議録や8年3月以降の各常任委員会会議録などが閲覧できます。

会議録は、中央図書館や各地区公民館などの公共施設でも、閲覧することができます。



新しい会議録検索システムの画面構成